

土俵で育つ、心と体

〜鵜飼小学校相撲クラブ〜

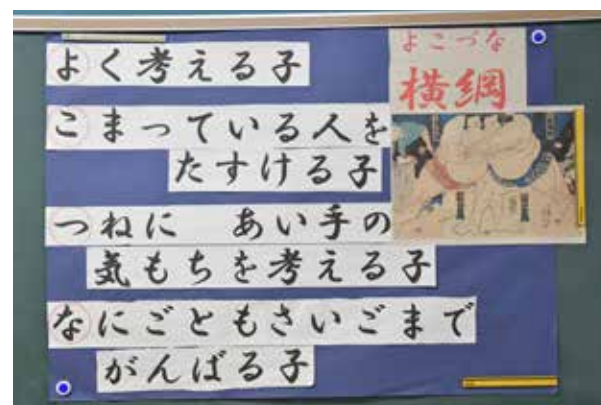
7月に行われた県知事杯争奪県下学童相撲大会で鵜飼小学校相撲クラブ「わかば・あおば」が初優勝を果たしました。児童を支えるのは、相撲の楽しさと「もっと強くになりたい」という思い。団体戦優勝メンバー3人と指導者に相撲の魅力や日々の努力、これからの目標を聞きました。



◆令和5年から活動を開始

鵜飼小学校相撲クラブは特別支援学級の児童11人が所属し、毎週月・火・木曜日活動しています。上級生も下級生も一緒に体を動かす活気のあるクラブです。

練習では、相撲の基本動作である四股や勝ち残り形式の取り組み、筋力トレーニングを通じて、技と力を磨いています。上級生が手本を見せたり、頑張る仲間には声援を送る姿も。休憩時間には学年を問わず会話が弾み、練習が始まると真剣な表情に切り替わります。日々、声を掛けあい、みんなで練習に励んでいます。



▲相撲クラブのスローガン



指導者
ながやま かずお
長山一夫教諭
(鵜飼小学校)

Q 相撲を取り入れたきっかけは？

相撲を始める前は、児童の有り余る体力を発散できる場がなく、けんかになることも多くありました。そのエネルギーを生かせる活動はないかと考え、始めました。

その後、肌と肌が触れ合い、裸足で地面を踏みしめる相撲は、心身の成長につながるという専門家の話を聞き、効果を実感しながら続けています。

Q 児童の成長を感じる瞬間は？

相撲を始めてから、けんかが大幅に減り、学校生活でのトラブルも見られなくなりました。以前はやりたがらなかった厳しい練習にも、粘り強く取り組みようになり「継続力」が育っていると感じています。

県大会で優勝するまでになった姿を見て、日々の生活と競技の両面で、子どもたちの成長を感じています。



こまつ あらた
小松新さん
(鵜飼小学校5年)

Q うれしい瞬間は？

勝負した相手と仲良くなれるところです。試合で勝つことも目標ですが、相撲を通じて友達ができることも相撲の良いところだと思っています。



むらやま けいと
村山恵仁さん
(鵜飼小学校6年)

Q 相撲の好きなところは？

勝ち負けがあるけれど、それ以上に楽しいところです。試合では絶対に勝ちたいと思っていますが、勝つことだけでなく、相撲そのものに楽しさを感じています。

Q 上達したいことは？

得意な「押し」と「投げ」です。相手を押し出したり、投げる勝ち方が好きなので、2つの技をもっと磨きたいです。

Q これからの目標は？

残りの大会で入賞することです。出場できる大会は限られているので、絶対に結果を残したいです。得意な「押し」と「投げ」で、良い成績を残せるように頑張りたいです。



※鵜飼小学校提供

Q これからの目標は？

ライバルに勝って、残りの大会で優勝することです。自分の好きな「押し」で勝てるように、これからも頑張ります。

Q 体づくりで頑張っていること

体を大きくするために食トレ（食事トレーニング）をしています。学校の給食では、誰よりもたくさん食べて、相手に負けない力を付けられるように頑張っています。

Q 好きな練習は？

試合形式で行う「取り組み」が好きです。練習を重ねて、ライバルに勝ったときが一番うれしいです。



ぎんばやし だいいじゅ
銀林橙寿さん
(鵜飼小学校6年)



長山教諭の思いで始まった相撲クラブは、児童たちが目標を持ち、夢中になれるものになりました。これからの大会で、どんな相撲を見せてくれるのか楽しみにです。「相撲が好き」という気持ちを胸に歩む児童の挑戦を、これからも応援していきます。

●問い合わせ／学校教育指導課
(0956・6585)